

夏休みにおすすめ！

企画展「かわいい！おもしろい！

親子で楽しむ物語絵」開催！

古くから日本で親しまれている「物語絵」を中心に33点の作品を集めた企画展が、杉並区立郷土博物館で始まりました。

「伊勢物語」や「源氏物語」など現代でも広く読まれている王朝物語や、短編のお伽草子など、多岐にわたる文学作品が物語絵として集合。物語を「読む」だけでなく「見る」ことで、一味違った楽しさを味わうことができます。

今回の展示では、日本の説話やお伽草子の研究で知られる杉並区在住の国文学者、徳田和夫・学習院女子大学名誉教授の全面協力のもと、魅力あふれる作品が集まりました。ユーモアに富んだ作品も多く、子どもから大人まで誰もが楽しめる企画展となっています。夏休みの思い出作りにぜひお越しください。

<主な見どころ>

・源氏絵

平安時代に書かれた源氏物語を題材にした物語絵。今回は「常夏」「篝^{かがり}火」「浮舟」のワンシーンを描いた作品を展示します。室町時代から江戸時代に制作されたもので、絵で見ることで、平安時代の日常をより身近に感じることができます。

・奈良絵「ねずみ物語」

奈良絵は近世の初めごろに絵本の挿絵として描かれました。「ねずみ物語」はイソップ^{いそほ}寓話^{ぐうわ}の翻訳である「伊曾保物語」に所収の「鼠^{ねずみ}の談合」をもとにした作品とみられており、現存するのは今回展示されている断簡のみです。

・義経地獄破り^{びょうぶ} 屏風

近世初期につくられたとみられる「義経地獄破り」の場面を描いた屏風です。源義経が弁慶ら仲間たちと力を合わせて鬼と戦うシーンは迫力満点です。伝本が少なく、貴重な作品です。

・ちりめん本

明治時代に外国で人気を博した日本の物語を題材にした絵本。縦、横、斜めにしわが寄った和紙を使用し、見た目や手触りが絹織物のちりめん^{ちりめん}に似ていることから名づけられました。「花咲か爺」や「鉢かづき」など日本でも広く読まれている物語の外国語版絵本を見ることができます。

・合わせ貝

トランプの神経衰弱に似た、「貝合わせ」と呼ばれる遊びで使う貝。一対の貝に金箔^{きんぱく}や極彩色で同じ絵が繊細に描かれています。

- 開催期間:7月5日(土)~8月31日(日)
- 開催場所:杉並区立郷土博物館本館 特別展示室(杉並区大宮1-20-8)
- 開館時間:午前9時~午後5時
- 休館日:毎週月曜日・毎月第3木曜日
(祝日・休日の場合は開館、翌平日休館)
- 観覧料:100円
(中学生以下、障害者手帳等を提示する方および付き添いの方は無料。
20名以上の団体は1人80円)

【会期中のイベント】

・講演会「七夕の由来の絵巻を知っていますか？」

8月23日(土) 午後2~4時 ※要申し込み

会場:郷土博物館本館 視聴覚室

・徳田先生のギャラリートーク

7月12日(土)、7月26日(土)、8月30日(土) 午後2時~2時30分

会場:郷土博物館本館 特別展示室

・親子で楽しむ紙芝居

8月10日(日) ①午後1時30分~ ②午後3時30分~ (各回約40分)

会場:郷土博物館本館 視聴覚室

出演:杉並昔話紙芝居一座「すかい」

・親子で楽しむ人形劇

8月24日(日) ①午前11時~ ②午後2時~ (各回約30分)

会場:郷土博物館本館 視聴覚室

出演:母親クラブ「つくし人形劇場」

【報道機関 問い合わせ先】

杉並区立郷土博物館:03-3317-0841

広報課報道係:03-3312-2111 内線1574